



JGT-TOUR “Green Park 500” ルール補助解説

開催日：平成28年6月12日＊ゲートオープン時刻 7：00

＊雨天決行 台風など荒天は中止(金曜日予報にて判断)

レース前準備編～

1.レギュレーションに従い、車輛の準備を行います。ボディは特に念入りご準備願います。レース雰囲気の上の目的の一つに、JGTツアーでは実車カラーを模倣するカラーリングを推奨しております。写真撮影を行っておりますので、レース後ホームページにアップ致します。

2. ヘッドライト及びテールライトの装着義務がございます。ヘッドライトは、透明色(電灯色)又はイエロー色に限定し、その他の色を準備する場合は、補助灯扱いとさせていただきます。補助灯は自分のチームを識別する為のものです。テールライトは、赤もしくはそれに類似した色で限定します。その他の色は補助灯扱いとさせていただきます。

*ナイトセッション時の、ヘッドライト及びテールランプ不灯はピットイン命令が発令され、修復が完了するまでコース復帰出来ませんのでご注意ください。準備の際には、特に頑丈に装着する事を、強くお奨めいたします。

3. 参加コスト抑制の為、予備ボディー、予備シャシーの準備は禁止です。パワーソース類は事前によく性能を吟味して選択して下さい。雨天決行のレースですので、防水対応のパワーソースを主催者からはお奨め致します。

4. 予備タイヤの準備をお忘れなく。またタイヤには必ず、走行状態で左右が明らかに識別可能な、マーキングをお願い致します。ステッカーは張替えが可能ですので、禁止いたします。ペイントマーカー、ホイールの色を変えるなど様々な方法がありますので、是非リアル感を残しつつ工夫願います。(雨天の場合のレインタイヤを除く)



5. レースは雨天決行でございます。予め出来るだけの防水対策施工をお奨めします。

6. レースには、ドライバーとピット間の通信システムの使用を推奨しております。携帯電話、トランシーバーなどが有効手段です。最近はスマートフォンのアプリでも十分な機能を持ったものもございます。是非ご活用下さい。



レース当日～ミーティングまでの流れ

1. 朝ゲートオープンは7:00です。レースプログラムが開始する迄は、進行が遅れがちですので、スムーズな進行にご協力下さい。
2. 操縦台下のピットスペースはレースで使用致しますので、配置決めの抽選が完了する迄、使用は控えて下さい。
3. 原則、充電器設置とバッテリー交換はピットエリアで行って頂きます。狭い場所ですので、修復、休憩などのスペースを別途設置頂いても構いません。ハンダコテのつけっぱなし、タバコ類の火気には十分気をつけてください。
4. Lipoバッテリーを使用するチームは、充電時必ずリポバックを使用して下さい。
【重要】バッテリー火災による損害や負傷は、該当バッテリー所有者の責任です。主催者では、責任を負いませんので、管理には十分気をお配り下さい。
5. 参加受付は、チーム代表者がまとめて頂けるとスムーズに行えます。ご協力お願い致します。チーム全員の参加受理の証として、ゼッケンをお配りいたします。ゼッケンは左右側面、正面に傾けないように貼ってください。
6. 車検時には、ボディー、シャシー、タイヤ、使用バッテリーを検査致します。検査はピット迄伺います。合格を受けたチームよりフリー走行を許可致します。
7. ミーティングでは、レースに関して質問を受付致しますので、ご不明な点はミーティングにてお尋ね下さい。ミーティング後、チーム個別で自己紹介をして頂きます。チーム内一人を代表にご挨拶の準備を御願ひ致します。チーム紹介終了後、集合写真を撮影致しますので、ミーティング参加時には必ず走行状態でレース車輛をお持ち下さい。ボディーのみじゃダメですよ。



公式練習から決勝スタートまで～

1.一度レースプログラムが開始致しますと、オンタイムで出来るだけ進行したいと思いません。走行間のインターバルが、通常のレースより短いですのでご注意ください。どうしても間に合わない場合は、進行スタッフにお声を掛けて下さい。

2.公式練習は、計測システムのチェック目的で行います。感度が弱かったり、ミスカウントが発生している場合、速やかに修正願います。

3.【重要】予選から決勝スターティングドライバーまで、同じ選手が担当する事が出来ません。

予選1ドライバー

予選2ドライバー

決勝スターティングドライバー

各セクションを担当するドライバーをチーム内で決定しておいて下さい。

4.予選1回目は、ベストラップ方式、1周のファーステストラップにて順位を決定します。計測は6分です。

5.予選2回目は、スタッガースタートによる、ベストヒートの計測で順位を決定致します。計測は6分です。

6.今回は、予選終了後のオフィシャル保管を行いません。8時間の長丁場に備え、最終準備を行って下さい。バッテリーも交換可能です。



レース中のルールなどetc

- 1.一人当たりの連続走行時間は最大1時間を目安とします。
- 2.使用出来る動力用充電器は1チーム1台又は1系統のみ。送信機用又は受信機用などの予備電池用充電器は別途用意して頂いても可能ですが、必ず分けて使用出来る環境にあるのが条件です。
- 3.充電電流は、LF2200、A123の場合、最大8.8Aまで
その他全てのバッテリーは最大2Cまでの充電電流で行う。
Lipoの最大電圧=4.20v/cell LiFe,A123の最大電圧=3.70v/cell
- 4.コースマーシャルは配置致しませんので、救済が必要な場合は、必ずチーム員が行う。
- 5.セーフティカー導入時、指示が無い限りセーフティカーを追い越さない。
- 6.危険ですので、コース内でのマシン修復は禁止です。また、コース復帰は必ずピットロードよりコースインしてください。
- 7.レースマナーを徹底して下さい。抜かれる側は、明らかにインを開け、抜く側はインを突いて下さい。悪質なリアプッシュやアウトから追い抜きは避けて下さい。
- 8.操縦台などでの、大声や罵声は謹んで下さい。

ペナルティの種類を一部抜粋:

コースカット:ピットスルーペナルティ

ピットレーンの他車との接触:ピットスルーペナルティ

ナイトセッションでの不灯:ピットイン後、修復完了までコース復帰不可

コース内での修復:ピットスルーペナルティ

タイヤチェックの際のマーク不適合:ピットイン後、修復完了までコース復帰不可

その他:主催者判断でペナルティを課す場合がございます。



ウエットレースについて

本レースは雨天決行のレースです。防水に関する事前準備は十分に行ってください。既に相当な雨量の耐久レースを完結した経験がありますので、少雨では中断はございません。開催時期から想定し、ご準備は十二分をお願い致します。

1. コース面がまんべんなく濡れて、1時間以上ウエット路面が続行する場合、主催者はウエットレースを宣言致します。路面は濡れ始めが一番グリップが悪く、完全にウエット且つ、水溜りが出来る状態になる程、ゴムタイヤは運転しやすくなります。ウエット路面には、硬度の低いゴムタイヤがお奨めです。また、路面と干渉しない様十分な車高を取ると運転は更にしやすくなります。

ウエットレースが宣言されますと、タイヤチェックは全面解除となり、それ以降のチェックは無くなります。

ウエットレースが宣言されますと、ナイトセッションを早める場合がございますし、ディセッションでも点灯を義務付ける場合がございます。常にヘッドライト等点灯可能な状態を保つ様をお願い致します。

2. 周辺に豪雨、落雷、竜巻など荒天の場合、主催者権限により赤旗中断する場合がございます。

3. 気象変化に備え、防寒着や雨具の準備も怠らない様をお願い致します。